

生活科部門

総評

自分の生活と結びつけた「ふりかえり」のある作品と、観察や実験だけで終わってしまっている作品に大きく二分され、例年通り「ふりかえり」のある作品が高く評価されました。作品は、絵や写真などを効果的に使ったまとめたものが多く、1、2年生ながら、人にわかりやすく伝えるための様々な工夫に驚かされました。テーマを決めるときは、日常に目を向け、身の周りの事象に関心を持って探求とおもしろく研究できるテーマが見つかるでしょう。

賞 文部科学大臣奨励賞

わたしのぼうさい手ちょう

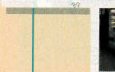
東京都 白百合学園小学校 2年

國頭 真理子

夏休みに二度の地震を体験したことから、「大地震がきたときにはどうすればいいか、どんな備えをしとけばいいか」を考えるべく、学校から家までのルートを考え、実際に歩いてみたり、逃げ方の練習をしたりと体当たりで学習している様子が伝わる作品です。二日非常食体験では、試食にとまらず、「食べるまでにかかる時間」「食べるために必要な水の量」「さらには「ゴミの量」にまでも考えが及んでいます。現実的に地震の状況を想定した多角度からの考察が高く評価されました。

わたしの
ぼうさい手ちょう

2年さくらぐみ
くにどうまり子



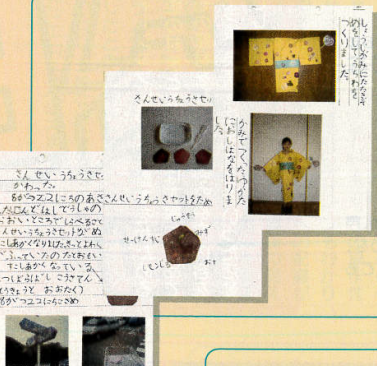
賞 子どもの文化・教育研究所 理事長賞

あさがおのかんさつ

東京都 白百合学園小学校 1年

友田 英里

「あさがおの観察」は「テーマ」としては定番ですが、雨に濡れたあさがおの色の変化から酸性雨という環境問題にまで研究は広がります。実験の仕方や考察も大変丁寧です。特に、あさがおの汁を使っ自分で作った「酸性雨調査セット」を利用しての実験など、1年生とは思えないしつかりとした実験が印象的です。「観察日記」二日自由研究「二日の記録」という二部構成の作品の分量にも感心させられました。



賞 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長賞

ぼくのエニヤフ

岐阜県 陶小 2年

高木 亮佑

「動物の中には絶滅が心配される野生動物がたくさんいる。大好きな動物を守りたい」という思いから、「身近にできるエコライフ」を実践した結果をまとめた作品です。コヒーカスを使った「シュキーパー」作りや、新聞紙で作った「手すきはがき」でのおおあやんに手紙を書くなど、実際に様々なリサイクルに挑戦している姿が評価できます。「家族みんなが物を大切にす、リサイクルを心掛ける気持ちを持つた」という結果は、研究の大きな成果といえます。



賞 中央出版株式会社 社長賞

かほのひとりてできるもん!

岐阜県 制試小学校 1年

諸橋 果歩

「お手伝いについてまとめたユニークな作品です。ただお手伝いをするだけではなく、お母さんに質問を投げかけ対話することで、様々なひみつを発見しています。着眼点がすばしく、しかし子どもらしい好感もてる研究です。



賞 優秀賞

むかしのあそびけん

岐阜県 柳津小学校 2年

地崎 凜平

大発見! すず虫のかんさつパート2

岐阜県 柳津小学校 2年

永井 一輝

かたつむりのあかちゃんはどうやってうまれるのか?

岐阜県 ぐんま国際アカデミー 1年

植竹 徹